

② 造影剤についての説明

造影剤は安全な部類に入る薬剤ですが、時に副作用が起こります。

造影剤検査の必要性、副作用を十分納得されたうえで、「造影 CT 検査説明同意書・問診表」にご署名ください。

1 造影剤を使うことで、体の中をより詳しく調べることができます。

通常、造影剤は静脈から注射します。

造影剤は速やかに対外へ排出され、体には残りません。

腎臓の機能が正常であれば、注射して6時間で造影剤の90%が排泄されます。

2 造影剤による副作用が発生することがあります。

ほとんどは軽症で一時的なものです。

副作用の頻度は、以下の通りです。

軽 症	100 人に 3 人程度 治療の必要が無い気分不良、はきけ、嘔吐、かゆみ、じんましんなど
重 症	2,500 人に 1 人程度 治療の必要な呼吸困難、急激な血圧低下、意識消失、ショック、心停止など
死 亡	40 万人に 1 人(非常にまれです)
遅発性副作用	100 人に 5 人程度 1 時間～ 1 週間の間起きる頭痛、はきけ、めまい、じんましんなど 通常は軽症で、様子を見るだけで大丈夫ですが、発赤などがひどい場合は病院にお越しください。
造影剤が血管外へ漏れる危険性	造影剤が血管外に大量に漏れた場合、皮膚潰瘍や手の感覚異常、運動障害が起こる可能性があります。

3 次頁の問診表の質問で、「はい」にあてはまる方は副作用が出やすいことが知られており、この場合、造影剤が使用できない場合もあります。

ただし、すべて当てはまらない方や、以前の造影剤で副作用がなかった方でも、副作用が出ることもあり、完全に予測することは困難です。

万一、副作用が発生した場合にも、迅速に適切な処置ができる体制を整えていますので、安心して CT 検査をお受けいただくことができます。

○検査のあとで副作用と思われる症状や、何か異常が現れた時は県立広島病院へ連絡してください。

○以上の説明内容は、ご家族の方にもお伝えください。 ☎ (082) 254-1818 (代)

以上をよく理解された上で、同意書にご署名ください